

基本情報

人口：441万人
 首都：パナマシティ
 言語：スペイン語
 主要産業：運河・港湾、金融、不動産、観光業等
 GDP：765億ドル
 一人当たりGDP：17,410ドル
 経済成長率：10.8% (以上、2022年世銀より)

国別開発協力方針 重点分野

(1) 経済基盤整備

- 持続可能な経済成長を支えるため、**感染症対策**、**都市交通機能**、**上下水道等の生活環境の改善・強化等の支援**。

(2) 環境保全

- 気候変動への対応が必要とされる中、2016年の拡張パナマ運河の運用開始及び今後の同運河周辺開発等の動向も踏まえつつ、**防災力向上**、**水資源管理**等を支援。

(3) 格差是正

- 首都圏と地方との格差問題は喫緊の課題。**農村開発**や**教育水準の改善**、社会的弱者への支援、貧困層を対象とした人材育成等格差是正に資する支援を実施。

特徴的な現地の課題

廃棄物問題



水不足問題



パナマでは、近年の急激な経済成長に伴い、都市部における自然環境保全や廃棄物管理への対応が急務であるが、社会経済活動による環境への負荷の適切な管理・軽減には至っていない。

パナマ運河の船舶航行のための水量の安定確保は、国家最重要課題の一つであり、現政権では、「水はパナマ人にとって最も必要なニーズである」とし、上水等の分野への投資の重要性を強調している。地方部においては、毎年の集中豪雨による洪水や地滑りに備えた防災対策も依然として重要である。

また、近年の急激な経済成長により一人当たりの所得は向上したが、国内格差や貧困の存在は依然として顕著である。

事例①

パナマ運河を日本のモノレールが走る

案件名	パナマ首都圏都市交通3号線整備事業
企業名	日立製作所、日立レールSTS、三菱商事
カウンターパート名	パナマメトロ公社
成果	住宅開発により人口が急増しているパナマ首都圏西部地域とパナマシティ中心部を結ぶメトロ3号線のモノレールシステム（中米初）を日本企業連合が受注



事例②

地域のハブとなるパナマでのスタートアップエコシステム支援

案件名	民間イノベーション促進アドバイザー
企業名	今後、日本のスタートアップの中米進出を支援予定
カウンターパート名	科学技術イノベーション庁



本件に関する連絡先

■ JICA パナマ事務所

内藤文弥

Naito.Fumiya2@jica.go.jp